

第3回愛知県少子化対策推進会議議事録

日時 平成22年7月9日（金）午後2時から

場所 アイリス愛知「コスモス」

発言者	発言内容
<p>佐藤 子育て支援課長</p>	<p>ただ今から「第3回愛知県少子化対策推進会議」を開催いたします。 会議に入ります前に、会議の運営につきまして、事務局からご説明申し上げます。 始めに、傍聴のご報告でございます。この会議は、本日参考資料として配布しております「愛知県少子化対策推進会議運営要領」により、公開により会議を進行いたします。 6月25日から県のホームページで会議の開催のお知らせをしましたが、本日、傍聴を希望される方はありませんでした。 また、議事録につきましても、愛知県のホームページで公開することとなりましたので、ご了承がいます。 続きまして、開会にあたりまして、愛知県知事 神田真秋からごあいさつ申し上げます。</p>
<p>神田知事</p>	<p>みなさんこんにちは。開会にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。第3回愛知県少子化対策推進会議でございます。ご案内申し上げましたところ、大変お忙しい中、また、天候不順な中を今日はお集まりいただくことができました。心から御礼申し上げます。 さて、ご承知のとおり、先月、国が昨年の合計特殊出生率を発表いたしまして、本県は1.43でございました。過去最低を記録したのが、万博の2年前の平成15年でございまして、この時が1.32でございますので、6～7年かかって、わずかに上がったところでございます。 なかなか、少子化を克服する決め手が見つからず、悩み悩んでいるところでございます。しかし、良く考えてみますと、今すぐ少子化が回復する決め手があるはずもなく、社会をあげて、あらゆる関係各所の皆様方のご協力のもとに、時間をかけながら回復するしかないような気もいたしております。そういう観点で、県といたしましては、愛知県少子化対策推進条例に基づきまして、本年の3月に少子化対策の基本計画であります「あいち はぐみんプラン」を策定いたしまして、あらゆる面からアプローチしようと、関係の皆様方のご協力を得ながら、事業に取り組んでいるところでございます。 後ほどご説明いたしますが、その基本は、さまざまなアプローチが必要だという観点から、それぞれのライフスタイルを頭におかなければならないことと、年代ごとに対応が必要だろうということだと思っております。小さなお子さんだけでなく、子どもたち、あるいは若者の結婚、仕事の取り組み、いろんな観点から対応しなければならないと思っています。そのためには、どうしても行政だけでは力不足でございませ</p>

<p>佐藤子育て支援課長</p>	<p>て、いろいろと皆様方のご協力やご理解が必要であります。少子化対策は待ったなしの課題でございますので、どうか今後ともよろしくご指導をお願いしたいと思います。</p> <p>今日は、よりこれをパワーアップしたいと、より強力に進めていきたいということで、後ほど、ご報告申し上げ、ご相談する事項を用意させていただきました。趣旨をご理解いただき、おくみ取りいただきながらこの会議を有意義なものにしてまいりたいと思っておりますので、どうか最後まで、よろしくお願いを申し上げ、簡単ではございますが、開会にあたってのごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>それでは、この会議の構成員の皆様のご紹介でございます。お手元の次第をはねていただきますと構成員名簿がございますが、時間の都合もございますので、この名簿の配布をもちましてご紹介とさせていただきます。</p> <p>なお、本日は愛知県小中学校PTA連絡協議会会長の富田さまが、ご欠席でいらっしゃいます。</p> <p>また、愛知県医師会長の妹尾さまにつきましては、所用により若干遅れていらっしゃるご予定となっております。</p> <p>次に、本日の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>会議次第、構成員名簿、配席図に続きまして上から順に</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料1ー1「あいち はぐみんプラン」概要版 ○資料1ー2「あいち はぐみんプラン」の推進について 添付資料といたしまして <ul style="list-style-type: none"> ・あいち出会いサポート事業のチラシ ・ファミリー・フレンドリー企業に関する資料 ○資料2 「あいち はぐみんプラン」本冊 ○資料3 子育て応援の日（はぐみんデー）の制定経緯及び平成21年度取組状況 ○資料4 今後の子育て応援の日（はぐみんデー）普及推進活動について ○資料5 「あいち はぐみんフェスタ」について（案） <p>また、参考資料といたしまして</p> <ul style="list-style-type: none"> ○参考1 愛知県少子化対策推進会議開催要綱 ○参考2 愛知県少子化対策推進会議運営要領 <p>それから、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○愛知労働局さんからの提供資料一式 また、 ○愛知県少子化対策推進条例と、はぐみんデーのリーフレットが入った黄色いクリアファイル <p>以上でございますが、不足は、ございませんでしょうか。</p>
------------------	---

<p>神田知事</p>	<p>なお、恐縮でございますが、午後2時40分頃までには会議を終了したいと考えておりますので、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>以後の進行につきましては神田知事をお願いいたします。</p> <p>それでは、早速、本日の会議を始めます。</p> <p>まず、議題1の「あいち はぐみんプラン（第二次愛知県少子化対策推進基本計画）」について事務局からご説明を申し上げます。</p>
<p>長屋少子化対策監</p>	<p>それでは、「資料1-1」をご覧ください。あいはぐみんプランの概要版でございます。</p> <p>本県では、平成19年3月に制定いたしました少子化対策推進条例に基づきまして少子化対策を推進しておりますが、依然として少子化が続いております。そこで、少子化対策をより一層推進するため、平成22年度から26年度までを計画期間といたします「あいち はぐみんプラン」を本年3月に策定いたしました。</p> <p>おめくりいただきまして、2ページを御覧いただきたいと思います。</p> <p>下段の「3 基本的な考え方」でございます。少子化対策の効果はすぐに現れるものではございませんので、出産・子育て期ばかりでなく、児童・青少年期も含め、中長期的な視野に立った少子化対策について、ライフステージ別の課題を踏まえた実効性のある施策を位置づけた計画としております。</p> <p>施策の実施に当たりましては、市町村との連携を始め、企業やNPOなど様々な団体の皆様と協働・連携してまいりたいと思っております。</p> <p>4ページをご覧ください。計画の体系と今後の展開方向でございます。</p> <p>左上のライフステージのところに、「若者の就学・就職」における重点目標として、「若者の生活基盤の確保」を定めておりまして、4～5ページにわたりライフステージごとに、4つの重点目標と23の基本施策による体系に基づき施策を展開してまいります。</p> <p>6ページをご覧ください。</p> <p>重点目標の1つ目、「若者の生活基盤の確保」でございます。</p> <p>雇用環境が大変厳しく、経済的に自立できない若者が増加しておりますことから就労支援をはじめ経済的・精神的な自立を促進するとともに、出会いの場の提供などの結婚支援を進めてまいります。</p> <p>7ページをご覧ください。</p> <p>重点目標の2つ目でございます。「希望する人が子どもを持てる基盤づくり」でございます。</p>

子どもを希望しながらも、経済的負担や子育てに対する負担感など様々な理由により、子どもをあきらめる家族も多く存在しております。さらに、女性の就労と子育ての両立の難しさや、男性の長時間労働など、働き方の問題の影響も指摘されています。

こうしたことから、働き方の見直しや子育てしやすい職場環境づくり、安心・安全な妊娠・出産の確保と不妊治療への支援を行い、安心して出産できる医療体制の整備などを推進してまいります。

8ページをご覧ください。

重点目標の3つ目の、「すべての子ども・子育て家庭への切れ目ない支援」でございます。

自宅で子どもを育てている家庭への支援については、切れ目ない情報提供を行うことにより、育児の孤立感や不安感の解消に努めてまいります。

9ページでございますように潜在的ニーズにも対応した保育サービス・放課後対策の拡充については、保育サービスの充実を図るとともに、放課後児童クラブの設置などを促進してまいります。

10ページをご覧ください。重点目標の4つ目、『子どもは社会の希望・未来の力』 地域・社会の子育て力をアップする」でございます。

少子化に歯止めをかけるためには、社会全体で子どもや子育て家庭を応援する機運を高めることが不可欠であることから、県民の皆様や企業等の皆様と一緒に、地域社会の子育て力を向上する取組を進め、「子育てにあたたかい愛知」の実現を目指してまいります。

概要版のご説明は以上でございます。

次に、資料1-2をご覧ください。あいちはぐみんプランの推進についてでございます。

ただいま、概要版で重点目標をご説明させていただきましたが、この重点目標の実現に向けて構成団体の皆様方にご協力をお願いしたい主な事項をまとめてございます。

たとえば、重点目標1の、「若者の生活基盤の確保」をご覧ください。

2つ目の枠に結婚支援がございます。ここでは、市町村・公的な団体等の皆様には、出会いの場の提供事業の実施など、若者の結婚支援をお願いしたいと思います。また、重点目標2の「希望する人が子どもを持てる基盤づくり」を御覧ください。一つ目の枠内でございますが、事業者団体、労働団体、企業等の皆様には、ファミリー・フレンドリー企業への登録など、子育てしやすい職場環境の整備をお願いしたいと思います。恐れ入りますが、添付してございますチラシをご覧ください。まず、「あいち出会いサポート事業」からご説明いたします。そして、その裏面をご覧ください。

県が6月末までに助成することを決定しました5市町、11団体の29の事業企画を掲載しております。

事業名をご覧くださいますと様々なタイトルとなっております。内容は結婚に向けた心構えや、マナーなどの講座、そのほか、男性の農家へ農業体験を通じた交流をし、出会いの場とするものなどの企画となっております。

	<p>1 企画につきまして50万円を限度に県が補助をいたしております。</p> <p>もう一つのチラシのファミリー・フレンドリー企業の資料をご覧ください。ファミリー・フレンドリー企業は、本年6月末現在で634社が登録されていますが、本県では特に優れた取組みをされている企業に対して表彰を行っております。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
神田知事	<p>今年3月に策定いたしました「あいち はぐみんプラン」の概要について、事務局よりご報告させていただきました。</p> <p>県といたしましては、今後、市町村はもとよりのこと、県民の皆様方、企業、NPO、関係団体等と連携・協力しながら、ただ今ご説明いたしましたプランを着実に推進してまいりたいと考えておりますので、どうか引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次の議題2の「子育て応援の日（はぐみんデー）普及推進活動について」事務局からご説明申し上げます。</p>
長屋少子化対策監	<p>お手元の資料3を御覧ください。</p> <p>「子育て応援の日の制定経緯及び平成21年度取組状況」について御説明させていただきます。</p> <p>1の経緯・内容についてでございます。</p> <p>本県では、平成19年4月に「愛知県少子化対策推進条例」を施行し、その推進体制として、その年の11月に、この「愛知県少子化対策推進会議」を設置・開催いたしまして、皆様から全会一致をもって、「あいち子育て応援宣言」を採択いただきました。</p> <p>そして、平成21年2月に開催いたしました第2回会議では、この宣言の具体的な取組として、県民の皆様お一人おひとりが家庭や職場、地域で子育てを応援する日として、毎月19日を「子育て応援の日（はぐみんデー）」とすることにご賛同いただき、21年3月19日から県民運動として実施しております。</p> <p>続きまして、2の「平成21年度の主な取組状況」でございます。</p> <p>まず、「(1) 子育て応援の日（はぐみんデー）に関する県の主な取組」でございます。</p> <p>本県では、県民の皆様、何よりも「はぐみんデー」の存在と、その趣旨を御理解いただくため、①に掲げてあります様々なPR活動を実施いたしました。「地域」・「家庭」・「職場」での取組を分かりやすくイラストで示した3種類のポスターを作成し、名鉄、JR、地下鉄等の車内や駅などへ張り出した他、関係機関へ配布いたしました。</p> <p>この会場に貼ってございますポスターには、人気タレントでございます「つるの剛士」さん、この方を起用し、御自身も先日4人目のお子様の育児休業を取られ、若い世代にも大きな反響がございました。</p> <p>この他にもテレビ、ラジオ、新聞等の媒体による啓発や、イベントでの啓発資材の配布なども行いました。</p>

次に、②の「県庁内の5部局による取組」でございます。「育児」「育児休業」「教育」「食育」「青少年健全育成」といった、子育てに関連する県庁内の5部局が合同で、それぞれの共通する育の字を取り、その名も「育19（いくいく）キャンペーン」と命名し、名古屋駅や栄地下街で街頭活動を実施いたしました。

また、③の「県職員の取組」については、県職員自ら積極的に取り組もうと、毎月19日を全庁一斉定時退庁日としたところでございます。

同時に市町村や推進会議構成団体の皆様におかれましても（2）のとおり、「はぐみんデー」普及活動にポスターや啓発資材の配布など御協力をいただいております。

資料4をご覧いただきたいと思っております。はぐみんデーの普及推進活動についてでございます。1の「今後の取組方針（案）」を御覧下さい。

これまではポスターの貼り出しや資材配布等を中心に取り組んでまいりました。

本年度は、より一層、「はぐみんデー」を普及推進するため集中的な取組を行うこととし、毎年11月を「子育て応援の日（はぐみんデー）普及推進強化月間」とすることを御提案させていただきたいと考えております。

11月に強化月間を御提案いたしますのは、資料の中程の表を御覧いただきたいと思っております。国では、「ゆとり創造月間」や、「家族の日」「家族の週間」が展開されることとなっており、県では、「青少年健全育成県民運動」や「ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン」の実施期間が11月に設定されております。

また、「食育」の推進を図る「おうちでごはんの日」が毎月19日となっており、これらと相互に連携しながら、11月に集中的に啓発活動を実施し、効果的に普及推進を図っていききたいと考えております。

次に、2の「平成22年度の取組計画」についてでございます。

まず、1の「あいち はぐみんフェスタの開催」でございますが、11月13日（土）に開催を予定しております。これは、後ほど詳しく御説明いたします。資料の右側を御覧下さい。

「2 はぐみんの歌「みんなではぐみん」の作成」でございます。

これは、親子が触れ合い、一緒に楽しめるお遊戯用の歌と踊りを作成するものであります。

幼稚園や保育所、またイベント等での活用はもちろん、事業所においても、定時退社の際に流していただくなど、子育て応援の歌として御活用いただきたいと思っております。

3の、「はぐみんの着ぐるみの作成」については、はぐみんの認知度を高め、親しんでいただきたいと考えております。

この着ぐるみは、推進会議の構成団体の皆様などへ貸し出しを行う予定としておりますので、ぜひ御活用ください。

4の「はぐみんデーキャラバン隊」でございます。はぐみんの歌や着ぐるみに親しみを持っていただくため、県内数か所でキャラバン隊

による出前の啓発活動も予定しております。

5の「ラッピング電車広告」でございます。

より多くの方への啓発効果を目的として、ラッピング電車広告、これは、あらかじめ広告を印刷したフィルムを車両全体に貼り付けたものでございますが、こうした広告を予定しております。

名鉄主要線、リニモ、また地下鉄東山線、名城線において、各1編成の走行を予定しております。

6の「啓発ポスターの作成」、7の「育19（いくいく）キャンペーンの実施」につきましては、昨年度同様に実施してまいります。

なお、新しい啓発ポスターの作成も予定しており、皆様のもとへご送付させていただきます。

続きまして、資料5をご覧ください。「あいち はぐみんフェスタについて(案)」でございます。

開催目的は、「あいち はぐみんフェスタ」を開催し、「はぐみんデー」の普及啓発と社会全体で子育てを応援する機運の醸成を図ろうというものでございます。

日時は、11月13日（土）10時30分からで、場所は松坂屋名古屋店南館8階の「マツザカヤホール」を予定しております。

4の「主催」についてでございます。

ここでも、御提案をさせていただきたいと存じます。社会全体で子育てを応援していくことを県民の皆様にお示しするためにも、このイベントをここにお集まりの「愛知県少子化対策推進会議」の構成団体の皆様を主催として開催させていただきたいと考えております。

イベント開催経費については、県の方で負担させていただいた上で、皆様には、ポスターの貼り出しやチラシ配布等のPR活動や、ブース出展など、各団体の実情に応じた参画をお願いできればと考えております。

5の「イベント概要」でございますが、オープニングセレモニーでは、テープカット、はぐみんの歌である「みんなではぐみん」や「着ぐるみ」のお披露目を予定しております。

またステージでは、子供向け番組で活躍するタレントなどによるステージ展開を企画しております。

また、ステージ以外のフロアでは、推進会議構成団体の皆様の取組を御紹介できるブース等も御用意させていただきますので、ぜひとも御活用いただければと考えております。

その他にも子供さんが楽しめる体験コーナー等もございます。

以上、今年度の取組予定をご説明いたしました。より一層「はぐみんデー」の普及推進を図るため、一点目は毎年11月を普及推進強化月間とすること、二点目は、11月13日に開催する「あいち はぐみんフェスタ」を、少子化対策推進会議の構成団体の主催とすること、この2点について御提案させていただきたいと存じますので、よろしくお願いたします。

以上でございます。

<p>神田知事</p>	<p>「子育て応援の日（はぐみんデー）」のこれまでの取組の状況と今後の普及推進活動について、ご説明申し上げます。</p> <p>特に、その中で、より一層強力に事業を推進するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎年11月を「子育て応援の日（はぐみんデー）」普及推進強化月間とすること <p>それから、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本年11月13日に開催の「あいちはぐみんフェスタ」について、この愛知県少子化対策推進会議構成団体の主催として開催すること <p>の2点を、ご提案申し上げたところでございます。</p> <p>ここで、これらの提案も踏まえまして、今後の活動について、あるいは、子育て支援について、委員の皆様方からご意見を伺いたいと存じます。どなたからでも結構でございます。ご意見をいただける方がありましたらお願い申し上げます。</p>
<p>連合 神野会長</p>	<p>私達、勤労者の立場からご意見を申し上げたいと思いますし、この県で示された計画については賛同の立場でお話したいと思います。</p> <p>私達も直接子育てという展開は難しいのですが、ただ、今、一日の働き方等を含めて、県の方ではワーク・ライフ・バランスという言葉が使われてきました。私達も今、改めて働き方と家庭生活ということを踏まえて、ワーク・ライフ・バランスという言葉を使いながら、いろいろなことで労働組合の立場から働きかけようと少しずつ運動方針に入ってきているかと思っています。進み方そのものは若干ステップが遅いかもかもしれませんが、私は逆にそういうことを進めることによって、家庭との関係をさらに強くしていくということによって、子どもとの接点を増やすということにもつながっていくんだろうと思います。</p> <p>ただ、若い人たちのことを考えますと、最近の若い人たちそのものは非常に家庭的な資質を持っているのですが、やはり働く場が非常に少ないということと、それから共稼ぎの方々が子どもさんを預けた時にどちらが引き取りに行くかということで、家族で相談しなければならないということになると思いますが、ワーク・ライフ・バランスが進めば、今日のご主人、今日は奥さんというふうに双方が子どもさんをお迎えに行くことができるのですが、社会の仕組みを少し変えなければ、言葉だけではなかなか難しいのかなと思っておりまして、できれば今年からは特に実行を挙げることをやっていかなければならないのかなと思います。</p> <p>そのためには県だけではなく、先ほども知事が申されましたが、市町村を巻き込んだ形でうねりを高めなければ、なかなか全体に広まっていかないかないかなという感じがいたします。私達は労働組合という立場でありますけれども、今後努力していきたいと思っています。</p>
<p>神田知事</p>	<p>ありがとうございました。ワーク・ライフ・バランスという働き方の話が出ましたので、経営者協会さんいかがですか？</p>

<p>愛知県経営者協会 山田会長</p>	<p>この会議は、19年の11月に第1回があつて、第2回が21年の3月にあつたのですが、私は21年の5月から会長をやっておりますので、今回が初めての出席でございますので、多少ピントがずれるかもしれませんが、修正していただければと思います。</p> <p>今、組合の方からお話がありましたけれども、経営者協会といたしましては、この少子化を単独で捉えるのは、なかなか難しいものですから、少子高齢化、日本が高齢化していくなかで、労働人口が減少していくのに長期的にどう対応していくのかという観点から、この問題に取り組んでおります。</p> <p>したがいまして、労働人口の減少については、多様な働き方が必要だということについて、いろんな対策を考えているわけですが、例えていいますと、女子労働力の活用、高齢者の労働力の活用、あるいは雇用の多様性の維持、例えて言いますと、現在、継続審議になっていますが、派遣法の改正、変更といった方がいいのでしょうか、私達は反対の立場で運動をしております。</p> <p>少子化高齢化に近い活動としましては、若者の就労支援、働き方の見直し、子育てしやすい職場環境づくりといったような問題に取り組んでおまして、ワーク・ライフ・バランスについてのセミナー、いろいろな良い事例集、それから研究会の実施、個別の企業からの相談に応じるなどの活動を展開しているわけでございます。</p> <p>今お話がありました神野さんのところとも、共同で育児休業、短時間勤務といった問題を取り上げて、ハンドブックを作ったりするような活動もしております。</p> <p>先ほど申し上げたこの会議についてですが、少子化対策の重要性を啓蒙するということについては、大変成果を挙げていると思っております、先ほどご提案のありました普及推進活動についても、是非進めていただきたいと思っておりますが、このパンフレットの中に、4つの重点目標が掲げられている中で、はっきり文字には書いてないのですが、例えていいますと、愛知県については待機児童を3年で0にするというような目標を掲げて、それについてこの会議、皆様それぞれの立場で代表的な方が出られているので、検討して、この会議が、実態を有する活動につながるとよろしいかと思っております。</p>
<p>神田知事</p>	<p>積極的なご提案をいただき、ありがとうございました。</p> <p>それでは、別の立場からで結構でございますが、どなたかいらっしゃいましたら伺いたしたいと思います。</p>
<p>愛知県幼稚園連盟 吉田会長</p>	<p>第二次の基本計画の内容については、ぜひ、強力に推進していただきたいという思いで発言させていただきます。</p> <p>特に資料1-1の3ページでは、子どもを中心にして、そしてだんだんと笑顔が広がっていく、愛知県がそんな地域になるといいなど、そんな気持ちを象徴した絵であると拝見しておりました。この中にもたくさん子育てをなさった方がおられると思いますけれども、子どもを育てるということは、思い通りにいかないことばかりなんですね。</p>

	<p>それを親という立場になるとクリアしていく、そういう中で人間的にも成長すると思うんですね。</p> <p>今、経営者協会の会長さんから育休とか、短時間勤務の話をしていただきましたが、どちらかという経営するサイドの方からすると、育休あるいは短時間勤務をとったりすると企業にとっては、マイナスではないかというような、今まではどちらかという、そんな捉え方をされてきたかと思います。言い方がきつかったらごめんなさい。私が申し上げたいのは、子どもを育てることによって、人間的にパワーアップして、それがまた企業の経営を支えていくのではないかという捉え方を是非していただきたいと思います。</p> <p>そういう意味で、皆が皆、育休が取ればいいのですが、やむを得ず、キャリアの関係などで働かなければならない、そういう親さんもおられるわけで、そんな時に、例えば1歳の子どもが、10数時間も父親でも母親でも親と離れて過ごすということは、やはり異常な世界であると思っております。</p> <p>そんな中で、育休や短時間勤務がこれは後で会社にとってプラスになって返って来るんだという思いで、取りやすい空気を作っていたら、子どもの立場に立って計画を推進していくという形になっていくと思います。</p> <p>この会議は、いろんな立場の人が参画して少子化について考えようという会議ですから、皆がそんな思いでやっていれば、(合計特殊出生率が)1.5になるのも、遠い将来ではないのではないかと期待しております。</p> <p>ありがとうございました。</p>
神田知事	<p>ありがとうございました。</p> <p>他にいらっしゃいますか。医師会の会長さんどうぞ。</p>
愛知県医師会 妹尾会長	<p>医師会でも従業員がおりますが、短時間勤務など他の従業員とのバランスもありますし、やはり時間がかかると思っております。私も経営者側にいるわけですから、そういう意味では、時間がかかると思っております。</p> <p>もう既に少子高齢化、人口減少社会に入っておりますが、先ほど経営者協会の方が言われたように、雇用請負ということがいわれるのですが、雇用したいが仕事がない社会だと思います。</p> <p>新規の雇用を創る投資を、是非、県や市でやっていただきたいと思います。 そうしないと雇用は生まれません。</p>
神田知事	<p>はい、ありがとうございました。他にはどなたかいらっしゃいますか。</p>
愛知県地域連絡協 議会 加藤会長	<p>地域活動連絡協議会とは、どんな活動をしている団体かと思われるかもしれませんが、愛称を「みらい子育てネットあいち」といっております。</p>

私達は、全国組織でありまして、児童の健全育成の推進団体でございます。

主に、児童館を拠点として活動しておりますけれども、全ての子どもたちが安全で安心して暮らせる街づくり、地域づくりのために、さまざまな活動を展開しております。

その中の一つ二つをご紹介します。

親子及び異世代間の文化交流活動というテーマがございます。

核家族が多い中で、普段、お年寄りとの交わりが非常に少ないという状況にあるということで、3世代交流をさせていただいております。地域のお年寄り子どもたちとの交わり、伝承遊びや昔話などをしていただいております。

子どもも大変喜んで、親しんでおります。今は3世代交流とっておりますけれども、これからは4世代交流というものを取り上げていかなければならないと思っておりますので、今後、考えていきたい課題の一つでございます。

もう一つ、児童の養育に関する研修活動では、お母さん達が勉強する研修なのですが、今は携帯電話やインターネットが非常に問題になっており、親というものは自分の子どもを信用しております、お友達とやりとりをしているのだと考えていらっしゃると思いますが、いろいろと勉強していく中で話しを聞きますと、メール交換の中にも友達同士の中傷的な言葉を書いていたたり、いじめにつながるような問題も出ていると知り、お母さん達も非常におどろいておられました。

そんな話しは良く聞くのですが、身近にそういうことがあるということへの驚きが多かったようでございます。

それから、児童の事故防止の活動につきましては、夏休みに親子で交通安全のマスコットを作っていただきまして、秋の交通安全週間に、栄の交差点、地域の中での交通事故防止活動において配布させていただいております。

これは、子どもが交通事故に出会わないように、家庭においても事故に会わない会わせない、加害者、被害者を出さないよう、交通安全を呼びかけている事業でございます。

同じように市町の方でも、マスコット配布をしながら交通安全を呼びかけております。

また、夏休み前の1週間は遊具及び防犯防止週間とし、幡豆にあります愛知こどもの国に行きまして、遊具点検をいたします。

また、各市町一斉に、遊具点検、防犯の安全点検の両方を公園でさせていただきます。これも全国の統一事業ということで進めております。各市町にあります公園を団体の方々と、民生委員さん、市議員の方々と交えて遊具を点検しております。管理者や業者の方々の目から見る遊具の点検と母親の立場で見る遊具の点検とは、やはり違います。ねじの緩みやさびが出ていたり、足場の方が危険な箇所があったり、母親の視点で見ますと気になるところが出てまいりますので、チェックいたしまして、各市町の市役所、役場等へ持って行って、修理していただくということをさせていただいております。大きな事業はこのようなもので、子供との関わりをもって、地域の子は皆わが子という言葉で合言葉にしながら、活動を進めております。

今回、このはぐみんデーについて、いろいろと推進されるということで、楽しみにさせていただいておりますけれども、私達もはぐみん

<p>神田知事</p> <p>愛知県医師会 妹尾会長</p> <p>名古屋市 住田副市長</p> <p>愛知県医師会 妹尾会長</p>	<p>デーに何らかの立場で関わらせていただきながら、進めていきたいと思っております。</p> <p>先日の私どもの研修会の時に、はぐみんデーのチラシなども配っていただきましたが、配るだけではなくて、もう少し一歩進んだPRができないものかと思っておりますので、お考えいただけたらとおもいます。</p> <p>もう一つ、啓発活動ということで、缶バッチやティッシュをいただいておりますが、皆さんが喜んで使っていただけるもの、そして、目に付く物、例えば、バンドエイドなどは鞆の中にも入れて持ち歩けますし、出すたびに子育て応援の日（はぐみんデー）を目にして、啓発活動に使っていただければ良いかと思います。</p> <p>私達は子育て応援団体でございますから、微力ではございますが協力させていただきたいと思っておりますので、何かありましたらおっしゃっていただければと思います。</p> <p>また、はぐみんフェスタについても、何らかの形で参画させていただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>待機児童を全部解消するには、どのくらい保育園が必要なのでしょうか。名古屋市ではどうですか。</p> <p>毎年だいたい7月頃に（4月1日現在の）待機児童を発表するのですが、名古屋も昨年5～600人出て、その対策を全部行うのですが、今年また（調査を）やると、ほぼ同じ数字が出てきます。</p> <p>最近、10月現在でみると4月よりさらに増えまして、本当に待機しているのかどうかという議論もさせていただきながら、この方が待機児童ですよという認定をしています。数にはあらわれていないけれども、潜在的にはもっと、とんでもない数の待機児童がいて、このいう状況の中で、どこまで行政がきちっとやるか、幼保一元化などの調整はしなければいけません。もし本当にやろうとすると、名古屋市でいうと2桁単位くらいの保育所を毎年作る勢いでないと、潜在的なものまで含めるとなかなか難しいと思います。</p> <p>市で、県で、ある程度クリアできないのですか。</p>
---	---

愛知県幼稚園連盟 吉田会長	名古屋のことは、また別の機会に。
名古屋市 住田副市長	私どもも、市町村レベルの行動計画を同時期に作らせていただいて、一生懸命やっていく予定としております。
神田知事	国の政策に関わることで、ワーク・ライフ・バランスに関することも出ましたので、愛知労働局の局長さん、よろしくお願いします。
愛知労働局 中沖局長	<p>もう時間も大分押し迫っておりますので一点だけ。</p> <p>先ほどから神野会長をはじめ、ワーク・ライフ・バランスのお話がありましたが、国としても制度改正をやっておりまして、今月から育児介護休業法の改正が施行されております。</p> <p>配布資料の中にパンフレットをつけておりますので、後ほど御覧いただけたらと思いますが。</p> <p>その中の一つが父親の育児休業でございまして、先ほど事務局の方から、こちらのポスターの、つるの剛士さんの紹介がございましたが、東京都文京区長が自らとるなど大分認知度が上がっております。ただ、まだまだ例外的でございます。</p> <p>そこで、先月、政府が、新成長戦略を決定いたしました。その中で、この10年間で男性の育休取得率を今の10倍、13%にするという目標を掲げておりますので、ぜひご協力お願いしたいと考えております。</p> <p>また、知事がいらっしゃいますのでお願いするのですが、県庁は注目度が高いので、県庁の男性職員自らがもっと育児休業を取得するようお願いしたいと思います。</p>
神田知事	<p>ありがとうございました。委員の皆様からもっとお話をお伺いしたいのですが、予定の時間も過ぎておりますので、この辺りにさせていただきます。</p> <p>先ほど事務局の方から、「毎年11月を強化月間」として活動すること、また、「あいち はぐみんフェスタを、この推進会議の構成団体を主催として開催させていただくこと」について、ご賛同いただけますでしょうか。</p> <p>(拍手)</p> <p>ありがとうございました。</p>

<p>長屋少子化対策監</p>	<p>以上、2件について、全会一致をもちまして、ご賛同を頂戴いたしましたので、この事業を力強く推進してまいりたいと思います。どうか、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>事務局から連絡事項は何かありますか。</p> <p>1点だけお願いをしたいと思います。</p> <p>今後、「あいち はぐみんフェスタ」におけるブース出展等のご希望、また、資料でご説明させていただきましたが、県が実施する様々な啓発活動について啓発資材の配布や街頭活動への参加など、ご協力いただける事項等につきまして、改めて後日、事務局より御照会させていただきますたいと存じます。</p> <p>各構成団体の皆様の実情に応じて、ご協力を賜りたいと存じますので、どうぞ、よろしくをお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p>
<p>神田知事</p>	<p>以上をもちまして、本日予定しておりました議事を全て終了しました。</p> <p>皆様からのご協力を得ましたので大変中身のある会議になったと思います。ご協力に感謝申し上げ、これで終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>